空は半分晴れているのに、風もあり時折雨も落ちてくるので風よけ雨よけタープを張りその下で宴会開始。暗くなるにつれ盛り上がるにつれ、雨は止み星は輝き、本職が薪ストーブ制作というオーノー氏のさすがの焚火が暖かい。

次の日、雨はすっかり止んだが谷間のため出発まで陽が当たらず（出発した時に当たった）生乾きのテントを畳んで出発。国道1522号線に出て、高遠市街の手前の白山トンネルの入口を右に折れて長谷高遠林道へ。南アルプスなどの景色も良く、ほど良く締まった砂利道は走りやすく、楽しい道である。この先、色々と走りつなげる道も多いが昼で解散する人も多いので国道で高遠へ引き返し。ガソリン補給して町道高嶺線（旧千代田湖月蔵林道）へ。鍛冶入林道から入りたかったのだが分岐を見失いウロウロしてすいません。林道に無事入ったのは良いが、水たまりや泥でヌルヌルした路面が続く。明るい林の中で一休みの昼食タイム。各自ラーメンなど煮る。ズルズル道後半戦に突入。私もズルッと大きく振られた場面のあったが（地下鉄氏にバッチリ見られた）、O型氏はあわや崖落ち寸前でバイクを倒し転落を免れた、ということもあったらしい。それでも全員無事に、再び芝平峠に到着。入笠山の舗装路に行っても面白くないので、今日こそ（日曜）は工事していないだろうと金沢林道を下って甲州街道へ、と思ったら相当下った所でまた警備員がいてUターン。仕方なく、今日こそは千代田湖経由で板室林道へ。砂利道区間は短くなってるものの無事に甲州街道へ。と思ったのだが板室バイパスのトンネルの上の旧道に出ていた。道が新しくなったためか記憶があ・・。軽井沢へ帰る人や道の駅に軽トラをデポした人や高速で帰る人はここでお別れ、地下鉄・O型・半蔵氏は私が軽トラをデポした場所へ向かい、連泊宴会に突入だあ。

記　組長

富士見組会一言

●水溜りが多発して、泥だらけとなりましたが、虹が綺麗で楽しかったです！（サンペイ）

●「トラクション」について考えてみた。そんな路面状況でした。（村松岡）

●11月末とは思えない温かい塾でした。久々に転倒したものの、大したダメージなく楽しめました。（カバ）

●長野でもよくコケました。助けてくださった皆様、ありがとうございました。そして何故か『こまどり姉妹のシワには2、3人埋まってる』という言葉が頭から離れません。（半蔵）

●久しぶりに、大クラッシュでした！でも、楽しかったです！（オガタ）

●遅いバイクの後ろを走るときは要注意（地下鉄）

カンヅメ屋寺崎組 宴会初お泊まり！

185回組会報告

初めまして、カンヅメ屋杉山です、2019年12月21日、22日初の寺崎組宴でお泊まりさせてもらいました、山梨方面、雪の天気予報にびびり静岡出発、おまけに場所がスシ峠奥から適に変更と言う事でたどり着けるか心配しつつ9月に買ったばかりのJB23　4型どノーマルで小武川を遡って行きますが、スシ峠への林道からの下りアプローチは見事に秋の台風で流されて、跡形も有りません。落ちたら死ぬ！

御座石鉱泉看板を進むと右への作業道。ジムニーを進めます。匂います臭います、寺崎組のニオイが。そこには懐かしい皆さん組長サン、地下鉄さん、ゴ三浦さん、涼風さんが、こんにちわ。お久しぶりです、しかしまああ、いつもいい場所見つけるなあ。既に準備してくれてあるテントの拡張を手伝い、組長が持参してくれたストーブで暖を取り、寝床の準備と皆さんの車中泊仕様を見物。やっぱり軽ワンボックスにかなう物は無し！

日が落ちて夜、組長、赤貧さん、唯一バイクKawasakiTRで登場カメラマンさん、遠くみちのくより金子3号さん、カバさん、涼風さん、ゴ三浦さん、ひらりんサン、尾形さん、六川さん、村松岡さん、サンペイさん、カンズメ屋、地下鉄さんと、勢揃いして車座になり自慢の一品を回しつつ、何の話をしたのでしょうか。あるお二人でかつて所有の車の話をしていましたが、聞いてびっくり集め過ぎに注意。

しかしまあこのストーブ、夜の暗さが増すと、これがすばらしい。流木を燃やしていたとの事で塩分で無数の小さな穴が開いていて火が燃え盛るとまるで、天の川の様にストーブの中から光が揺らめきます。天気予報は雪との事でしたが当夜は降らず、少し残念。

さて、なぜ宴、初お泊まりなのに「懐かしい」かって？そうです、ここ何回かは集合場所に駆けつけ、差し入れを渡して「お見送り」専門家！そうだ前回のスシ峠奥は現地差し入れでした。あコンバットも。サンペイさん鉄道カレンダーありがとうございます！　皆さ～ん。ありがとうございました。

記　26号　カンヅメ屋杉山

年末恒例のクルシミマス宴会（最近はクルシンデ無いですが（笑））が今年も行なわれますので、久々の連泊での参加となりました。

21日の午後3時過ぎに自宅出発、近所の西友で買い出しを済ませて高速＋下道にて一路小武川を目指します。今年は掲示板やLINEでの情報から例年のスシキャンプ場周辺が昨今の大雨やそれに伴う？治水対策の河川工事の進捗によって進入できないそうで、御座石鉱泉方面に新たに野宿地が設営されたらしいので、分岐部からの林道を慎重に進みます。すでに時間は18時を回っており漆黒の闇の中を進むとなんとか進入路を発見し、18時30分に到着いたしました。

すでにストーブ小屋での宴会はまさしく宴も酣でありテント設営後、宴会に加わりました。カバさんから煮込みうどん等のうれしい差し入れもいただき、新人さん（杉山さん、OUTRIDER誌で活躍された柴田カメラマン）に自己紹介などしながら、料理を作ることもなく飲み続けました。カバさんのマッサージによって体内のアルコール濃度が急上昇？し、早々の轟沈となりました。

2日目は朝からゴ三さんのスマホ消失事件に大笑いし、金子3号さんのウサギの箸行方不明捜索と話題に事欠きません。二日酔いの方々や本日帰宅組の皆様と昼ぐらいまでうだうだした時間を過ごしていると、噂話を聞きつけ「だれが胃袋やねん！」と管理人さんが到着。午後はゴ三さんのCA二のスタッドレス交換や三瓶さんのデリカシート入替、巻割、地下鉄さん、管理人さんとの電動ガン試射等しながら解禁時間を待ちます。途中、連泊予定の涼風さんの愛犬キイちゃんが体調不良を起こしたので急遽帰宅されました（腸ねん転らしく無事快方したとのことです）。

16時に無事2日目の宴会スタート、連泊組は組長、赤貧さん、地下さん、ゴ三さん、管理人さん、自分の6名です。余った日本酒やワインを批評しながら飲み続け、いつものカラオケタイムとなりますが、地下鉄・管理人ペアのみゆきさん攻勢にゴ三さんが「ちょっと待った！」と新企画を提案し、地下鉄・管理人ペアVSゴ三浦・ヒラリンペアでの紅白対決が怒涛のスタート！。名誉審査員に組長、辛口審査員に赤貧氏をお迎えし熱戦が始まりました（まあ、ウォークマンで曲を流すだけですが・・（^^;）折よく野宿地にさんさんと降り出した降雪の中、薪ストーブの暖気に溶けた水滴が頭上から滴り落ちるのをかわしながらの熱戦です（ゴ三浦・ヒラリンペアの場所だけですが）。地下鉄・管理人ペアの怒涛のみゆきさん攻勢に70～80年代ポップスで迎え撃つゴ三浦・ヒラリンペアは、松田聖子・中森明菜・竹内まりや・松任谷由実・坂本冬美・太田裕美と脈絡もないメンバーで一時は審査員の好印象を獲得し、気を良くした名誉審査員みずから「知床旅情」を久々にアカペラにて熱唱、一同仲良く熱唱しながら「来年も良い年でありますように！また お会いしましょう！」と第一回紅白対決御座石編は勝敗もわからぬまま終了いたしました。審査員はじめ就寝の中、地下さん、管理人さんとの3人で軍事談義に華が咲きます。明日23日は管理人さんのお誕生日であり、防人としてのお仕事の終わりの日でありました。就寝前に管理人さんに「長い間お疲れ様でした」と お伝えしました。昭和の終わりから平成と平穏ではありましたが、災害が多かった時期に第一線で国民に寄り添う本来の公務員の姿を見させて頂きました。今後は民間での活躍をご期待いたします。

さて、快晴の3日目は積雪10センチぐらいの中で朝食・撤収作業が進みます。地下鉄さんと組長がまさかのノーマルタイヤであることが発覚しましたが、慣れたもので無事御座石分岐まで下り、それぞれ帰路につきました。

2年ぶりの年末宴会でしたが、温暖化の影響なのか天候が激変しつつあり、山中の状態も悪いほうに変化しているようでしたが来年の5月もまたお会いできることを楽しみにしています。ありがとうございました。

記　ひらりん

以下組長原稿だ～～。

（フライング前日中心）

相変わらず仕事（アルバイトですけど）の都合で前日の金曜日に千葉を出発。今回は宴会のみなので、軽トラには薪ストーブ小屋建設用資材を積んでいる。夕暮れ時、いつものマックスバリューで買い出し後、ライン（やっているんです私）を見ると、前乗り組の半蔵氏が野宿地が分からずウロウロしているらしい。前乗り組のもう一人と一匹の涼風氏とキイちゃんはもう着いているというのに。宴会地は、塾報告で記した通り、スシキャンプ場から御座石鉱泉手前に変更。変更案内メールには「御座石鉱泉に向かい、砂利道になってからの左カーブの頂点付近を右へ」と書いたのだが、暗い中実際に行って見るとカーブの頂点からちょっと過ぎて右だった。半蔵氏到着も暗かっただろうから、これで迷ったか。失礼。それでも何とか涼風氏がいる場所を発見合流したのか、二人と一匹がチマチマと焚火しているのが見えた。ちなみに涼風氏は軽バン車中泊体制、半蔵氏はCRFにテント泊、私は軽トラにテント泊。

次の日、結構忙しい。朝飯を食ったら暇なので前乗り組でストーブ小屋の建設、薪作り、スシキャンプ場入口に「寺崎組現場変更届」の張り紙をしてこなければならない。幸いスシキャンプ場入口付近に倒木がしこたまあったのでチェーンソーで玉切りにしてしこたま持って来た。それを斧でパカパカ割って薪を作るのだが、これが結構大変。初めてやるという半蔵氏をなだめすかしほめまくって労働をさせる。涼風氏は経験者なので慣れたものだ。（以後、年寄りの記憶曖昧のため順不同）そうこうしているうちに、珍しくいつもより早着きの地下鉄サンバー到着。半蔵氏仕事のため（看護師らしい）帰る。薪割りありがとう。寺崎組最年長の赤貧氏（昭和20年代生まれ）は三重から軽バン（ダイハツだったかな）で到着。なんだかんだで昼近く、小屋内にそれぞれ自分の居場所